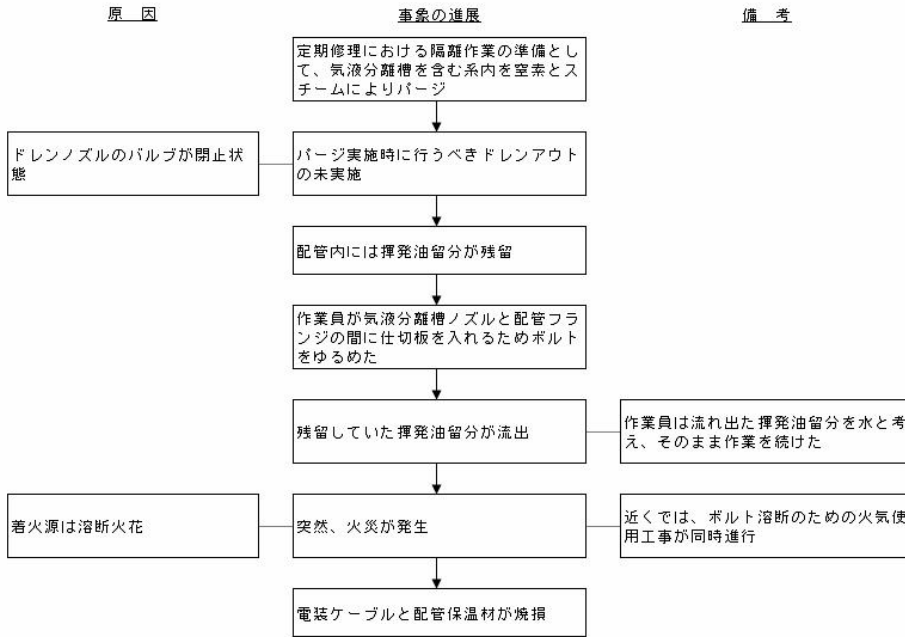




定期修理の仕切り板挿入作業で油が漏洩し火災

事象進展図

00199	定期修理の仕切り板挿入作業で油が漏洩し火災
発災年月日	2003年9月2日
装置	揮発油留分回収装置
運転状況	装置・機器の点検・保正中（定期修理の準備作業中）
特徴	定期修理における隔離作業前のバージの失敗による漏洩、火災



再発防止対策
定期修理では複数の作業が錯綜するため、作業標準に次のことを加え、周知徹底 ①定期修理時はドレン排出作業と火気使用工事の同時進行を禁止 ②残留液の排出作業は含油のいかんにかかわらず、いかなる場合も協力会社の作業員には任せず、自社の工事責任者を立ち合わせ、その指示のもとに実施

安全専門家のコメント
定期修理の事故の防止は、再発防止対策にあるように教訓を作業標準に加え、それを守ることによって確立されてきた。 ①機器や配管のバルブ操作は従業員が行う。 ②機器および配管の縁切りは仕切り板かダブルバルブ開でブリード。 ③装置群単位で火気使用期間を定める。系内の可燃物は完全に除去する。どうしても残す場合は仕切板を用いて隔離し、可燃物がある旨の表示をする。 ④初めての火気使用や塔槽内に入槽するときは従業員が立会い、ガス検知や酸素検知を行う。 工事環境を安全な状態に保ち、維持するのは如何なることがあっても運転課の使命であることを肝に銘じて欲しいと思う。フランジを外した際に出てきた液体が可燃物か否かを把握するのも運転課の責務であると思う。

引き金事象発生の原因
・ねじカップリングとフィッティングの摩耗

事故の引き金事象
・仕切板挿入のためのフランジボルトのゆるみ

事故に関係した直接・間接要因
《人的要因》 作業者による液体と水の誤認 《工事・施工要因》 可燃物近くでの火気使用



定期修理の仕切り板挿入作業で油が漏洩し火災

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

- ・森新一、危険物施設における工事中等の事故事例と対応について、Safety & Tomorrow、No.103、P.23-34、2005年
- ・高圧ガス保安協会、平成17年度事故事例検索システム

▶ 添付資料

▶ キーワード(> 同義語)

- 🔑 配管 > パイプ
- 🔑 槽 > ドラム, 受槽, ベッセル
- 🔑 フランジ継手

▶ 関連情報